

「社会に愛される18歳」～グランドデザイン改訂～

令和8年2月28日

卒業おめでとう

いよいよ、3年生は卒業の時を迎える。保護者の皆様にとっては、小さく小さく大切に抱きしめていた生まれたばかりの赤ちゃんが、身体は大きく成長し、精神的にも自ら離れていこうとする子どもたちを目の前にすると、なんとも言えない誇らしさと、寂しさを抱える時であろうと想像する。

生徒の皆さんは、入学当初の校長の式辞を覚えているだろうか。そうです、**覇気・信念・明朗**です。

私は、3年生と今年出会った。直接話ができた生徒はわずかだが、書類で名前を拝見したり、進路選択や部活動などで一生懸命に取り組む様子を耳にしたりして、成長を楽しみにしてきた。

今年、何度か通信に登場させたマイコーデウィークは、様々な意見はありながら、徐々に定着しているように見える。この取組は、生徒に選択の余地があるところに良さがあつた。生徒の皆さんは、小さなことではあるが、自らの責任において、服装を選んでいたのである。3年生の皆さんは、いよいよ高等学校を卒業して、18歳成人として、いわゆる大人として社会に出ていく。大人になると、これまで以上に、自らの責任において、自ら行動しなくてはならない。

いつか、卒業していく生徒に、「このことを伝えたい」と思っていたことがあるので、通信として発信しておきたい。

それは、哲学者の鷲田清一さんが言っていた「**価値の遠近法**」である。価値の遠近法とは、「**絶対に見失ってはならないもの**」「**あってもよいけどなくてもよいもの**」「**端的になくてよいもの**」「**絶対にあってはならないこと**」の4つを、どんな状況にあっても分けられるということである。例えば、A会社に勤めることになった時に、「（自分の好きな）趣味を持つこと」は？どれにあてはまるだろうか。「同僚と一緒にランチをすること」はどうだろうか。などを、どう判断するのかということである。私は、この価値判断ができる大人であることが、それぞれが社会の一員になることなのではないかと思っているのである。

これから、皆さんの選んだ道で、高校までの「学び」「経験」が、君らの判断の知恵や教養として姿を現わす。

ひょっとしたら、失敗や困難に出会うかもしれない。その時には、この4つの価値が見分けられる大人であってほしい。私たちは、これから卒業する3年生に、それがしっかり身についていると信じているし、もし、わからなくなった時には、この母校に戻ってきて、君らを想う先生方と一生懸命話してほしい。

入学時に、校長が話したこと、私が今年一年、生徒のことを先生方とたくさん話したこと、これらをまとめると、「**本校の生徒は、社会に出てから「可愛がられる」だろう**」ということである。「自分の所属した場所を大切にすること」を、本校の生徒は見失わないという価値判断をするだろうと思うからである。君らは、きっと社会に愛される。堂々と、前を向いて、自らの選択と、自らの判断を信じて、将来に進んでほしい。**卒業おめでとう**。自らの望む未来が、君らを待っているよ。

未来の教室で起こることをイメージする

令和8年2月9日午後にお休みをいただいて、国の経済産業省が主催する「**未来の教室 成果報告会**」に参加した。生成AI、産業と探究のコラボ、ファンドレイズ、オンライン、ダンス教材など、指定を受けた企業、学校が新たな学びを獲得していく様子に圧倒された。その数日前、富士宮市のある場で、富士宮市の副市長が「時代の変化」の話として、22世紀からきたドラえものの道具の話をした。

海外の人と瞬時に話をするための道具が「こんにやく」だったのに、当たり前のように「スマホ」のアプリでできる。21世紀前半ですが。

その変化を「言葉」で「昔はな・・・」と体験を話しても伝わらない。

今必要なのは、「**まず、やってみる**」「**自ら、変える**」。みなさんには、そんな大人になってほしい。



グランドデザインの改訂

令和8年度に向けて、今年度教職員に協力を仰ぎながら、グランドデザインを改訂した。本校の日常の教育活動を整理したものと考えていただきたい。教職員が生徒の実態を見ながら、今、富士宮北高校の生徒の理想とすべき姿を思い浮かべながら、そのために必要な育成すべきことを整理した。つまり、日頃、先生たちが何を思って指導しているかが表現されたものと考えている。それを集約して、卒業後の生徒の姿を最高目標に掲げたのが「社会に愛される18歳」である。詳細版は、ホームページで見いただきたい。先生たちの言葉は、5つの付けたい能力に繋げたいのだと、生徒、保護者の皆さんにも知っておいただけると幸いである。

(参考)※ホームページをご覧ください

心を律する力	自ら計画し実行する力	協働を築く力	知性を磨く力	未来を創る力
心を通わせ、信頼関係を築く力	目標を設定し、計画を立て、実行する力	多様な価値観を尊重し、協働する力	変化の激しい社会で、自ら答えを導き出すための土台となる力	誰も正解を知らない時代に、自らの意志で道を切り拓くためのエンジンとなる力

<ちよこっと、余白>【おとなの社会科見学】

先日、今後の富士宮北高校の探究、大学等との接続のため、富士フィルムのラボを見学させていただいた。富士宮工場は、大変興味深くどこかご紹介したい。歴史を紐解くと、この地がさらに奥深く見えてくる。



<https://www.fujifilm.co.jp/corporate/aboutus/history/ayumi/dai3-16.html>

富士宮北高校の目指す生徒像を考える

私たちは、今年、本校の生徒の様子から、どんな学校、どんな生徒像を目指すのか、話し合ってきた。6月、7月職員会議にて、生徒の実態をグループとなって話し合った。8月、その実態をもとに、目指す生徒像を教職員研修した。そしてその生徒像に近づけるために育成したい力(指導のポイント、観点)を5つにまとめたのが次のとおりである。

心を律する力: 社会の一員として信頼を得るとともに、困難を乗り越えるための心の強さとなる力

自ら計画し実行する力: 描いた目標を着実に実現し、成長のサイクルを回すための力

協働を築く力: グローバル化や多様性が進む中で、周囲と相乗効果を生み出すための力

知性を磨く力: 変化の激しい社会で、自ら答えを導き出すための土台となる力

未来を創る力: 誰も正解を知らない時代に、自らの意志で道を切り拓くためのエンジンとなる力

これらは、何かスケールがあって測ることができるわけではない。先生方が日常的にどんな考えで指導していくのかわかりやすく表現したものである。生徒は、学校で行っている教育活動がどんな力をつけているのか意識したり、先生の考えを予測したり、教員は、自らへのリフレクションのポイントとして考えながら、本校の学校経営、教育活動を行なっていきたいと考えている。

90周年記念事業に込めた思い。ぜひ、未来の「子どもたち」にご寄附を！

「みやきた」は、生徒たちを一言で表すなら「愛らしい」。本校は、校訓が示す「覇気・信念・明朗」を体現できるような教職員は、熱心に関わり、生徒は、それを真つすぐに、しなやかに、学び取っていかうとする。15歳から18歳の人の成長時期を迎える生徒たちは、決して全てが同じように育つわけではないし、それぞれの思い、キャラクターを持ちながら、各自に応じた成長を遂げる。その学校ならではの関係性が、大きなキャンパスと伝統の中で、ゆっくり醸成されていくのが本校の強みであり、その結果は、生徒を「誰からも愛され、かわいがられるであろう」大人へと変えていく。90年という節目にあたり、創立者である望月軍四郎の遺訓に伴い、地域の職業人を数多く輩出してきた本校は、公立高校として地域とともにある姿を発信する機会としたい。地域の拠点として、広大な敷地を持ち、恵まれた教育環境を提供できる基礎を築いていただいた歴史を守り、地域住民や保護者に「開かれた学校」としての姿を発信し、学校の教育環境をさらに充実させ、「学びの拠点」、「社会変革の拠点」、「スポーツ等の拠点」となるよう周年行事を契機に学校の特色を打ち出していきたい。

